

取扱説明書



1.9GHz帯

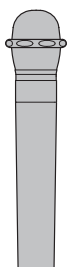
デジタルワイレスアンプシステム ATW-SP1910/MIC

同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口までご連絡ください。



●ワイレスアンプ
(ATW-SP1910)



●ワイレスマイクロホン
(ATW-T190MIC)

- ワイレスアンプ専用ACアダプター
- φ3.5mmステレオミニケーブル
- ポーチ(ワイレスマイクロホン専用)
- 取扱説明書(本書)
- 保証書
 - ・本製品は電池別売です。
 - ・ワイレスマイクロホン(ATW-T190MIC)とポーチ、ワイレスアンプ専用ACアダプター、φ3.5mmステレオミニケーブルは、ワイレスアンプ(ATW-SP1910)背面のリアカバー内収納ボックスに入っています。
 - ・本製品は工場出荷時に同梱のワイレスアンプとワイレスマイクロホンの組み合わせでペアリング済みのため初回のペアリングは不要です。

別売品

- ・下記、別売品以外の製品には対応していません。
- ・用途に合わせてお買い求めください。

《受信機》

- ワイレスレシーバー
ATW-R190

《送信機》

- ワイレスマイクロホン(ハンドヘルドタイプ)
ATW-T190MIC
- ワイレストランスミッター
ATW-T190BP

《トランスミッター用マイクロホン》

- ヘッドウォーンマイクロホン(ヘッドセットタイプ)
PRO8HEW/P
- ラベリアマイクロホン(クリップタイプ)
AT829H/P

《ワイレスアンプ用バッグ》

- キャリアバッグ
CBG-1

《ワイレスマイクロホン用ホルダー》

- マイクホルダー
AT8456a

目次

安全上の注意	2～3ページ
使用上の注意	3ページ
各部の名称と機能	4～6ページ
ご使用前の準備	7ページ
接続のしかた	7ページ
使いかた	8ページ
送信距離について	8ページ
ミュート(消音)機能について	8ページ
オートパワーオフ機能について	8ページ
電池残量について	8ページ
ペアリングについて	9～10ページ
マイクホルダー(別売)の使いかた	10ページ
ワイレスシステムの増設について	10ページ
お手入れについて	11ページ
故障かな?と思ったら	11ページ
外形寸法図	裏表紙
テクニカルデータ	裏表紙

安全上の注意

本製品は安全性には充分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

- ⚠ 危険** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
- ⚠ 警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
- ⚠ 注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

ワイヤレスアンプについて

⚠ 警告

- 付属のACアダプターと付属のACコード以外使用しない
故障、不具合の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない
異常に気づいたら、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- 分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電によるけがの原因になります。
- 水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。
- 火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
- 布などで覆わない
過熱による火災やけがの原因になります。

⚠ 注意

- 不安定な場所に設置しない
転倒などにより、けがや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所、結露する環境に保管しない
故障、不具合の原因になります。
- 持ち運びの際は、ハンドルをしっかり握る
けがの原因になります。
- ハンドルを持って振り回さない
けがや故障の原因になります。

ワイヤレスマイクロホンについて

⚠ 警告

- 本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- 異常に気づいたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあつたら、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。
- 水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。
- 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
- 布で覆わない
過熱による火災やけがの原因になります。

⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に保管しない
故障、不具合の原因になります。
- 火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない
変形、故障の原因になります。
- 振り回さない
手から外れて、けがや故障の原因になります。

ACアダプター／ACコードについて

⚠ 警告

- AC100V以外の電源には使用しない(日本国内専用)
過熱による火災など事故の原因になります。
- 本製品以外には使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない
異常に気づいたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない
過熱による火災など事故の原因になります。
- コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む
過熱による火災など事故の原因になります。
- コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする
断線、故障の原因になります。
- コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない
断線、故障の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
- 布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。
- プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る
過熱による火災など事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

⚠ 注意

- 長時間使用しないときは、コンセントから抜く
省エネルギーにご配慮ください。
- 通電中のACアダプターに長時間触れない
低温やけどの原因になることがあります。
- 足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない
故障や事故の原因になります。

電池について

指定電池	ワイヤレスアンブ : 単2形アルカリ乾電池または単2形ニッケル水素電池 × 8 (別売) ワイヤレスマイクロホン : 単3形アルカリ乾電池または単3形ニッケル水素電池 × 2 (別売)
------	---

⚠ 危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

- 火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 極性(+/−)通りに入れる
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 液漏れした電池はすぐに取り出し、液は素手でさわらない
・幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- 硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、
電池の+と−を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて
使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 乾電池は充電しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使い切った電池はすぐに取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。

⚠ 注意

- 外装ラベルが剥がれた電池は使用しない、ラベルを剥がさない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 変形させたりハンダ付けない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
・炎天下の車内
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 保管、廃棄の場合は端子部をテープなどで絶縁する
液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- 水に濡らさない
発熱の原因になります。
- 指定の電池以外使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する
環境保全に配慮してください。

ワイヤレス製品について

- 本製品は(財)テレコムエンジニアリングセンター(TELEC)の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。
証明ラベルの貼り付けられた製品を総務大臣の許可なしに改造、または証明ラベルを剥がして使うことはできません。
これに違反すると法律により罰せられます。
- 本製品は、1.9GHzの周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえ
使用してください。

- ・本製品は、1,895.616 ~ 1,902.528MHzの帯域を使用する、デジタルコードレス電話の無線局の無線設備です。
(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

・本製品の使用周波数に関わるご注意

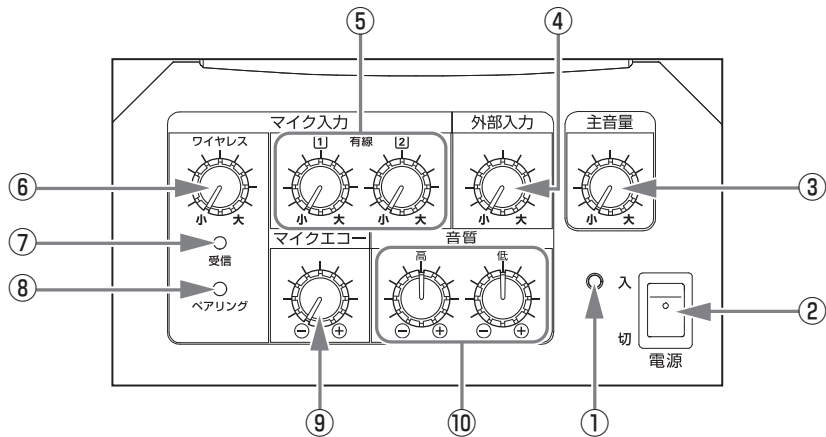
- 本製品の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
1. 本製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
 2. その他、何かお困りのことが起きたときは、当社お客様相談窓口へお問い合わせください。

使用上の注意

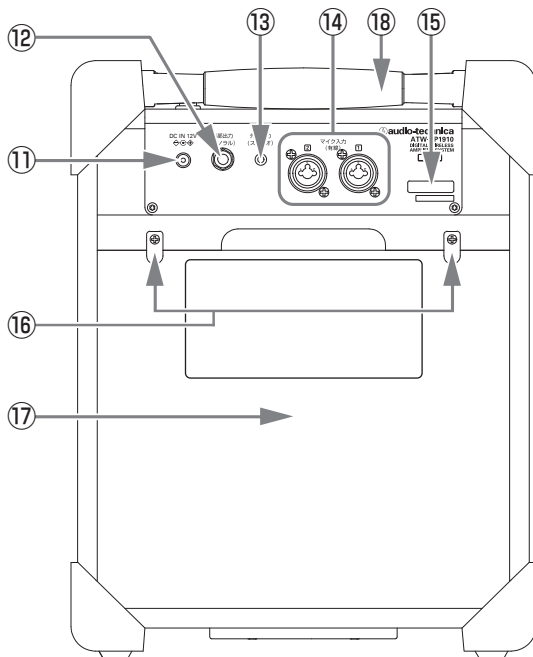
- 本製品は日本国内のみで使用できます。
- 本製品は照明調光装置、コンピューター、OA機器、電子楽器、コードレス電話などの影響を受ける場合があります。
影響を受けにくい位置に設置して使用してください。
- ラジオを接続しないでください。ラジオの音声にノイズが入ることがあります。
- ワイヤレスシステムを複数使用する際、同時に使用できる送信機は最大 5 台までです。
周囲の電波環境によっては同時に使用できる台数が少なくなる場合があります。

各部の名称と機能

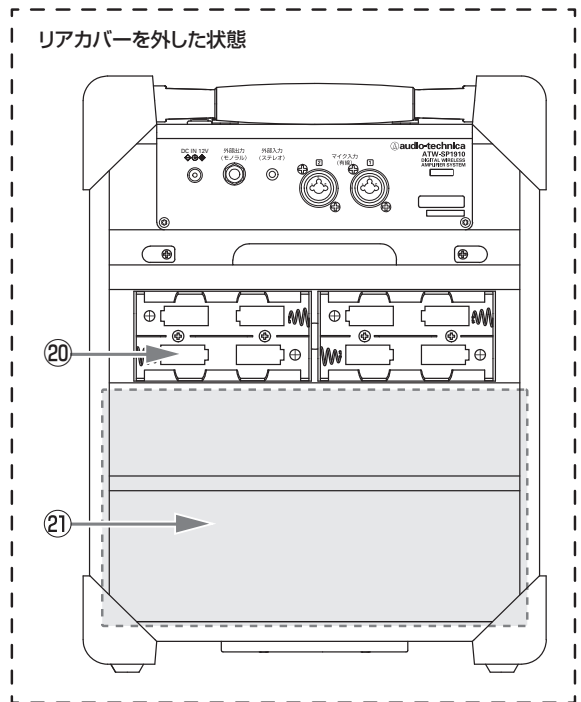
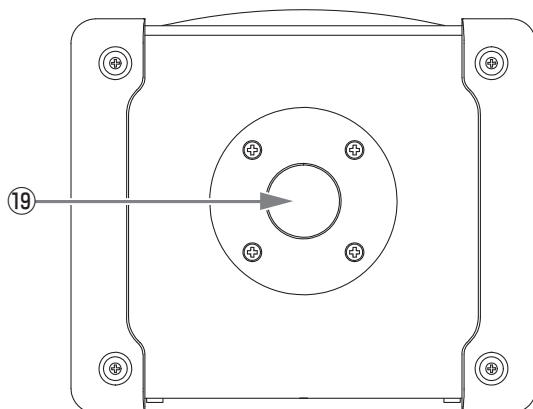
ワイヤレスアンプ(上面)



ワイヤレスアンプ(背面)



【底面】



①電源インジケーター

電源状態を表示します。

青点灯	電源「入」
赤点灯	電池残量少
消灯	電源「切」

②電源スイッチ

電源を「入/切」します。

③主音量ボリューム

スピーカーから出力される主音量を調整します。

④外部入力ボリューム

外部入力端子に接続された機器の音量を調整します。

⑤マイク入力(有線)ボリューム

各マイク入力(有線)端子に対応した有線マイクロホンや増設レシーバーの音量を調整します。

⑥マイク入力(ワイヤレス)ボリューム

送信機の音量を調整します。

⑦受信インジケーター

送信機との通信状態を表示します。

緑点灯	送信機とペアリング状態
緑点滅	ペアリング待機状態 / ミュート状態
赤点灯	送信機と未通信状態

⑧ペアリングボタン

ワイヤレスアンプと送信機のペアリングをします。

⑨マイクエコーボリューム

ワイヤレスアンプに接続している送信機、有線マイクロホンの残響レベルを調整します。

・外部入力、外部出力には影響しません。

⑩音質コントロール

ワイヤレスアンプに接続している送信機、有線マイクロホン、外部入力機器の音質を調整します。

「高」では高音を、「低」では低音を調整できます。

・工場出荷時はセンターに設定されております。

⑪DC入力端子(DC IN 12V)

付属のACアダプターを接続します。

⑫外部出力端子

ワイヤレスアンプの音を録音したい場合や、入力信号をそのまま別の機器から出力させたい場合に使用します。
φ6.3mmモノラル標準プラグに対応しています。

⑬外部入力端子

ポータブルプレーヤーなどの外部機器の音声信号を入力します。
付属のφ3.5mmステレオミニケーブルを使用して、外部機器の出力端子と接続します。

⑭マイク入力(有線)端子

マイクロホンを有線で接続します。φ6.3mmモノラル標準プラグ、バランス出力プラグ(XLR-M)の両方に対応しています。

⑮技術基準適合証明ラベル

電波法により定められた技術基準に適合していることを証明するラベルです。このラベルを剥がすことは電波法により禁じられており、罰せられます。

⑯カバー固定止め金

リアカバーを本体から外す際に回転させます。

⑰リアカバー

電池交換や収納ボックスを使用する際に外します。

⑱ハンドル

持ち運びする際に立てて使用してください。

持ち運びしない場合は、元の位置に戻してください。

⑲スタンド取り付け穴

市販のφ38mm対応スピーカースタンドを使用する場合の取り付け穴です。

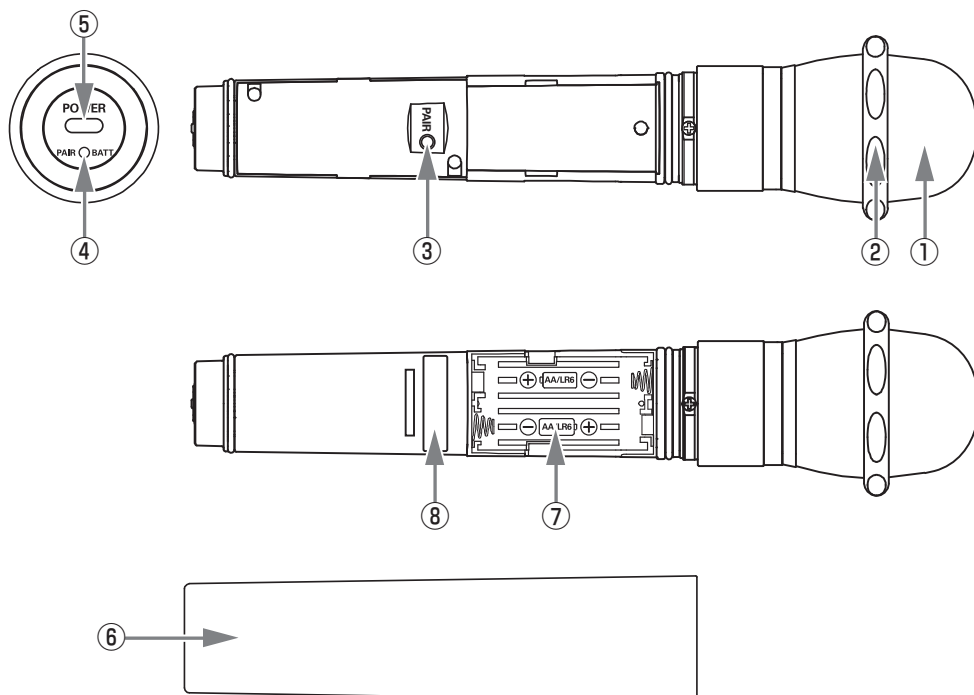
・使用するスピーカースタンドの取扱説明書を必ずお読みください。

⑳電池ケース

単2形電池を8本入れます。

㉑収納ボックス

専用ACアダプターやワイヤレスマイクロホンを使用しないときに収納します。



①ヘッドケース

②ゴムリング

転がり防止用です。取り外しできます。

③ペアリング/ミュートボタン

ワイヤレスマイクロホンと受信機のペアリングをします。
使用時、押すたびにミュート状態を切り換えます。

④電源/ペアリングインジケータ

電源、通信状態を表示します。

緑 点灯	受信機とペアリング状態
緑 点滅	ペアリング待機状態 / ミュート状態
赤 点灯	受信機と未通信状態
赤 点滅	電池残量少

⑤電源ボタン

電源を「入/切」します。

⑥グリップ

ペアリングや電池交換の際に回して外します。

⑦電池ケース

単3形電池を2本入れます。

⑧技術基準適合証明ラベル

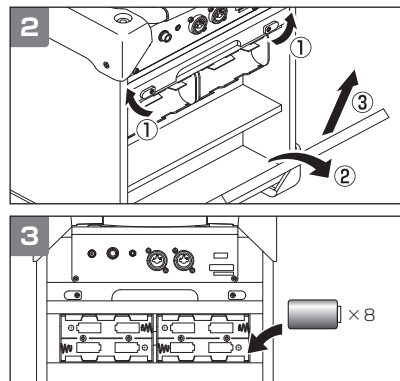
電波法により定められた技術基準に適合していることを証明するラベルです。このラベルを剥がすことは電波法により禁じられており、罰せられます。

ご使用前の準備

ワイヤレスアンプは、付属の AC アダプターを DC 入力端子に接続し、AC100V コンセントに接続してください。
電池を使用する場合は、リアカバーを開けて電池を入れてください。
ワイヤレスマイクロホンは、グリップを外して電池を入れてください。

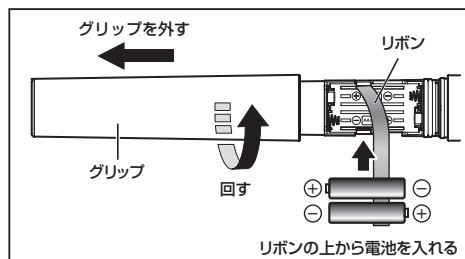
ワイヤレスアンプの電池の入れかた

1. ワイヤレスアンプの電源スイッチを「切」にします。
2. カバー固定止め金(2カ所)を回し、リアカバーを外します。
・ 右図の矢印の順番でリアカバーを取り外してください。
3. 単2形電池を8本を、電池ケース内の極性(+/-)表示に合わせて入れます。
4. リアカバーを取り付けます。



ワイヤレスマイクロホンの電池の入れかた

1. グリップを右図のように回して外します。
2. 単3形電池2本を、電池ケース内の極性(+/-)表示に合わせて入れます。
・ 電池は脱落防止、接触不良防止のために外れにくくなっています。電池を取り出す際は、リボンの先端を持ち、電池を下から持ち上げるようにして外してください。
・ リボンを下に通して、その上から電池を入れてください。
・ グリップの取り付けの際は、リボンを挟まないようにしてください。
3. グリップを取り付けます。

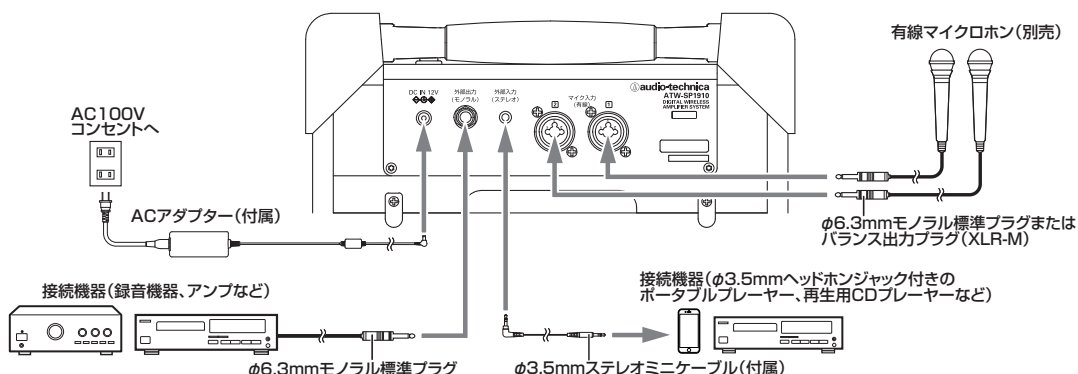


接続のしかた

接続機器の取扱説明書も併せてお読みください。

接続の前にワイヤレスアンプの電源を切り、音量ボリュームを全て最小にし、音質コントロールはセンターにしてください。
また、接続機器の音量ボリュームを最小にしてから接続してください。

1. 別売の有線マイクロホンを使用する場合、ワイヤレスアンプのマイク入力(有線)端子に接続します。
・ 対応するプラグ形状は、φ6.3mm モノラル標準プラグまたはバランス出力プラグ(XLR-M)です。
上記以外のプラグ形状の場合、市販のケーブルまたは変換プラグを使用してください。
・ プラグインパワー専用マイクは使用できません。
2. 接続機器を使用する場合、ポータブルプレーヤーやCDプレーヤーなどは付属のφ3.5mmステレオミニケーブルを使用して外部入力端子へ、録音機器やアンプなどは外部出力端子へ接続します。
・ 外部入力に対応するプラグ形状はφ3.5mm ステレオミニプラグ、外部出力に対応するプラグ形状はφ6.3mm モノラル標準プラグです。
・ 付属のφ3.5mm ステレオミニケーブルは L 型プラグをワイヤレスアンプと接続してください。



使いかた

■ ワイヤレスアンプ

1. 主音量ボリュームを最小にし、電源スイッチが「切」状態になっているか確認します。
2. 電源スイッチを「入」にして電源を入れます。

■ ワイヤレスマイクロホン

1. ワイヤレスアンプの電源を入れた後、ワイヤレスマイクロホンの電源ボタンを押して電源を入れます。
 2. マイク入力(ワイヤレス)ボリュームの位置をセンターにします。
 3. ワイヤレスマイクロホンに音声を入れながら、ワイヤレスアンプの主音量ボリュームで適切な音量にしてください。
- ・ワイヤレスアンプの受信インジケータと、ワイヤレスマイクロホンの電源 / ペアリングインジケータが緑点灯するまでに約3～5秒*かかります。
- *使用条件により異なります。

■ 有線マイクロホン(別売)

1. ワイヤレスアンプのマイク入力(有線)端子に、使用する有線マイクロホンを接続します。
2. ワイヤレスアンプのマイク入力(有線)ボリュームの位置をセンターにします。
3. 有線マイクロホンに音声を入れながら、ワイヤレスアンプの主音量ボリュームで適切な音量にしてください。

送信距離について

ワイヤレスアンプと送信機は約50mの距離まで使用できますが、障害物がある場合や建物の構造、周囲の電波環境などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。

ミュート(消音)機能について

通信時、ワイヤレスマイクロホンのペアリング/ミュートボタンを押すとミュート状態になります。もう一度押すと通常の使用状態になります。

・ミュート状態の間、ワイヤレスマイクロホンの電源 / ペアリングインジケータとワイヤレスアンプの受信インジケータが緑点滅に変わります。

オートパワーオフ機能について

ワイヤレスマイクロホンとワイヤレスアンプの距離が離れすぎている、またはワイヤレスアンプの電源が切れているなどの未通信状態になると、ワイヤレスマイクロホンの電源/ペアリングインジケータとワイヤレスアンプの受信インジケータが赤点灯します。

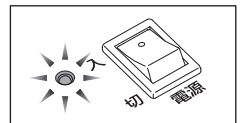
赤点灯の状態が約1分間続くと、自動的にワイヤレスマイクロホンの電源が切れます。

再び使用する際は、電源を入れ直してください。

電池残量について

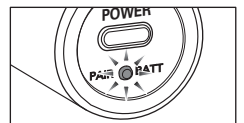
■ ワイヤレスアンプ

電池使用の際、電池残量が少なくなると、電源インジケータが赤点灯します。その場合は付属のACアダプターを使用するか、新しい電池に交換してください。充電式電池を使用している場合は充電してください。



■ ワイヤレスマイクロホン

電池残量が少なくなると、電源 / ペアリングインジケータが赤点滅します。その場合は新しい電池に交換してください。充電式電池を使用している場合は充電してください。



ペアリングについて

- ・ワイレスアンプは送信機とのペアリングを行うことにより、送信機の音声をワイレスアンプのスピーカーから出力することができます。
- ・本ワイレスアンプ 1 台につき、1 台の送信機が接続できます。
- ・工場出荷時には同梱のワイレスアンプとワイレスマイクロホンの組み合わせでペアリング済みです。
- ・万一お買い上げ時のペアリングが解除されてしまった場合には、改めてペアリングを行ってください。
- ・ペアリング後に別の送信機とペアリングする場合は、ペアリング解除を行った後で、改めてペアリングを行ってください。
- ・ペアリングまたはペアリングの解除をする際、ワイレスアンプと送信機の距離は、3m 以内で行ってください。

ペアリングを行う

ワイレスマイクロホンでの操作を例に説明しています。

1. 本ワイレスアンプと、ペアリングさせたいワイレスマイクロホンの電源を切ります。

《ワイレスアンプの操作》

2. ペアリングボタンを押しながら、電源を入れます。

- ・電源を入れたあともペアリングボタンは離さずに押し続けます。

ペアリングボタンを押し続け、約 3 秒経過すると受信インジケータが赤点灯から緑点滅に変わります。赤点灯から緑点滅に変わったらすぐに指を離します。(ペアリング待機状態)

- ・5 秒以上長く押し続けてしまうとペアリングできないことがあります。その場合は、もう一度はじめからやり直してください。
- ・ペアリング待機状態で約 10 分経過すると、ワイレスアンプのペアリング待機状態は解除されます。

《ワイレスマイクロホンの操作》

3. グリップを外し、ペアリング / ミュートボタンを押しながら、電源を入れます。

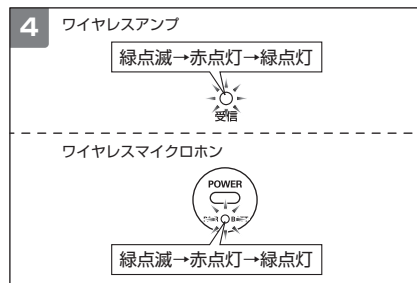
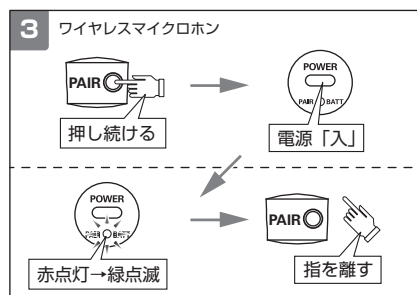
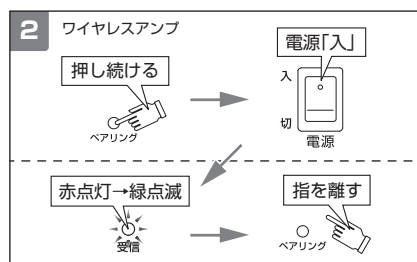
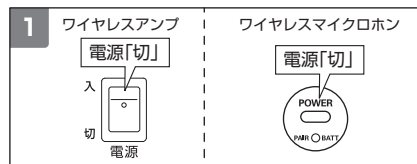
- ・電源を入れたあともペアリング / ミュートボタンは離さずに押し続けます。

ペアリング / ミュートボタンを押し続け、約 3 秒経過すると電源 / ペアリングインジケータが赤点灯から緑点滅に変わります。赤点灯から緑点滅に変わったらす指を離します。(ペアリング待機状態)

- ・5 秒以上長く押し続けてしまうとペアリングできないことがあります。その場合は、もう一度はじめからやり直してください。
- ・ペアリング待機状態で約 2 分経過すると、ワイレスマイクロホンのペアリング待機状態は解除されます。
- ・ワイレスアンプ ⇒ ワイレスマイクロホンの順にペアリング待機状態にしてください。先にワイレスマイクロホンをペアリング待機状態にすると、ペアリングできないことがあります。

4. ペアリングが完了すると、ワイレスアンプの受信インジケータとワイレスマイクロホンの電源 / ペアリングインジケータが赤点灯に変わったあと、緑点灯に変わります。

- ・ペアリングが完了しなかった場合は、もう一度はじめからやり直してください。
- ・一度ペアリングをすると、次回からは自動的にペアリングされます。



ペアリングの解除

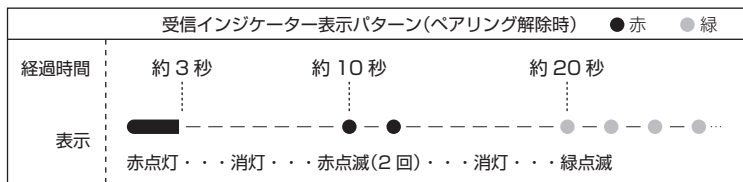
ペアリングの解除はワイレスアンプでのみ行うことができます。送信機の操作は必要ありません。

1. ペアリングを解除させたいワイレスアンプとワイレスマイクロホンの電源を切ります。
・ワイレストランスミッターの場合も、ワイレスマイクロホンと同様になります。

《ワイレスアンプの操作》

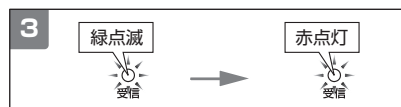
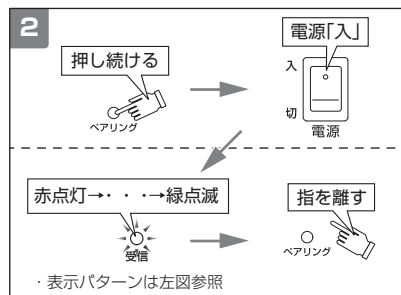
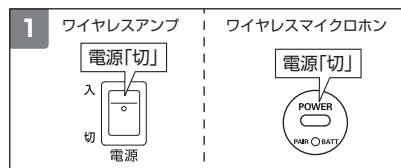
2. ペアリングボタンを押しながら、電源を入れます。
・電源を入れたあともペアリングボタンは離さずに押し続けます。

ペアリングボタンを押し続けると、受信インジケータが下図のように変わります。約 20 秒経過し、受信インジケータが緑点滅に変わったらず指を離します。



3. ペアリングが解除されると、ワイレスアンプの受信インジケータとワイレスマイクロホンの電源 / ペアリングインジケータが赤点灯に変わります。

・ペアリングが解除されなかった場合は、もう一度はじめてからやり直してください。



マイクホルダー(別売)の使いかた

ワイレスマイクロホンをスタンドに立てて使いたい場合、別売の専用マイクホルダー(AT8456a)を使用してください。

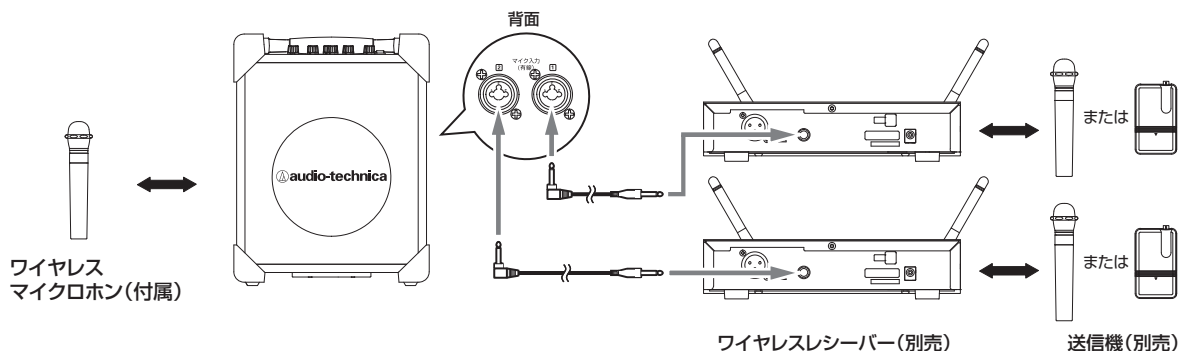
- ・別売の専用マイクホルダー(AT8456a)以外を使用すると、ワイレスマイクロホンをしっかり保持できず落下するなど、事故や故障の原因になります。
- ・マイクスタンドはネジ径 5/8 インチのタイプを使用してください。

ワイレスシステムの増設について

別売のワイレスレシーバーと本製品を接続することにより、同じスピーカーから音声を出力することのできる送信機を増設できます。

増設する際は、本製品のマイク入力(有線)端子とワイレスレシーバーの音声出力端子を接続します。

- ・ワイレスレシーバー(別売)の取扱説明書を併せてお読みください。
- ・接続用のφ6.3mm モノラル標準ケーブルはワイレスレシーバー(別売)に付属されています。
- ・ワイレスアンプはワイレスレシーバーを 2 台増設することができます。増設により本ワイレスアンプは最大 3 台までの送信機を接続できます。



お手入れについて

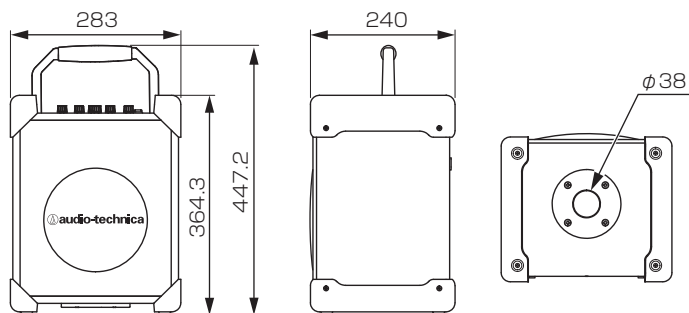
- 汚れたときやほこりが付いたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 長い間保存する時には、機器をビニールなどで包み、湿気を帯びないようにしてください。

故障かな？と思ったら

症状	ご確認ください	対処方法
ワイヤレスアンプの電源が入らない	AC アダプターがコンセントから外れていませんか？ 電池使用の場合、電池は入っていますか？ また、使用している電池の残量がなくなっていないですか？	P.7の「接続のしかた」を参照してください。 P.7の「ご使用前の準備」を参照してください。 P.8の「電池残量について」を参照してください。
マイクロホンの音が出ない	ワイヤレスアンプの各ボリュームが最小になっていませんか？	P.4～6の「各部の名称と機能」を参照してください。
	ワイヤレスマイクロホンの電源が切れていませんか？	P.8の「ミュート(消音)機能について」を参照してください。
	ワイヤレスマイクロホンがミュート状態になっていませんか？	P.8の「ミュート(消音)機能について」を参照してください。
	有線マイクロホンのプラグがマイク入力(有線)端子から外れていませんか？	P.7の「接続のしかた」を参照してください。
ノイズが出る	ワイヤレスアンプとワイヤレスマイクロホンがペアリングされていますか？	P.9の「ペアリングについて」を参照してください。
	近くに蛍光灯や電気器具などのノイズ発生源はありませんか？	P.3の「使用上の注意」を参照してください。
ワイヤレスアンプが受信しない、電波の送信距離が短い	各ケーブルは確実に機器に接続されていますか？	P.7の「接続のしかた」を参照してください。
	ワイヤレスアンプとワイヤレスマイクロホンがペアリングされていますか？	P.9の「ペアリングについて」を参照してください。
ワイヤレスアンプおよびワイヤレスマイクロホンの電池残量がなくなっていないですか？	ワイヤレスアンプおよびワイヤレスマイクロホンの電池残量がなくなっていないですか？	P.8の「電池残量について」を参照してください。
	ワイヤレスアンプとワイヤレスマイクロホンがペアリングされていますか？	P.9の「ペアリングについて」を参照してください。
外部接続機器の音が出ない	接続機器のプラグが外部音声入力端子から外れていませんか？	P.7の「接続のしかた」を参照してください。
	接続した機器は再生モードになっていますか？	外部接続機器の取扱説明書を参照してください。
	接続した機器のボリュームが最小になっていませんか？	P.7の「接続のしかた」を参照してください。
音が割れる	入力信号が大きすぎませんか？	ワイヤレスアンプの主音量ボリュームや外部接続機器の出力レベルを調整し、音量を下げてください。
音が小さい	入力信号が小さすぎませんか？	ワイヤレスアンプの主音量ボリュームや外部接続機器の出力レベルを調整し、音量を上げてください。

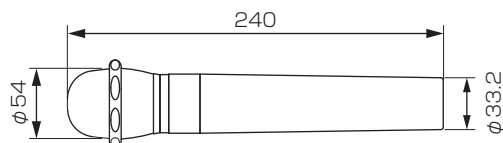
外形寸法図

ワイヤレスアンプ



ワイヤレスマイクロホン

(単位: mm)



テクニカルデータ

ワイヤレスアンプ(ATW-SP1910)

電源	: DC12V(付属のACアダプターを使用)、 または単2形アルカリ乾電池 ×8、 または単2形ニッケル水素電池 ×8
連続使用時間	: 約9時間(単2形アルカリ乾電池使用時) 約8時間(単2形ニッケル水素電池使用時) ※使用条件により異なります。
消費電力	: 17W(定格出力時)
再生周波数範囲	: 85~20,000Hz
使用温度範囲	: 5~45℃
外形寸法	: H364.3×W283×D240mm (ハンドル収納時)
質量(電池除く)	: 約5.6kg
付属品	: ACアダプター(AD-SM1238LO) : φ3.5mmステレオミニケーブル (L型プラグ - ストレートプラグ)

■ワイヤレス部

使用周波数	: 1895.616~1902.528MHz
無線方式	: 1.9GHz DECT準拠方式
周波数特性	: 100~10,000Hz
受信数	: 1チャンネル
アンテナ	: 内蔵アンテナ(ダイバーシティ)
通信距離	: 約50m(見通し時、妨害電波がない場合)

■アンプ・スピーカー部

最大出力	: 12W(ACアダプター/電池使用時)
最大出力音圧レベル	: 106dB(JEITA)
定格歪率	: 2%以下
入力インピーダンス	: マイク(有線 φ6.3mmモノラル) 1kΩ マイク(有線 XLRバランス) 10kΩ 外部入力 47kΩ
S/N比	: 65dB以上(外部入力端子)
エンクロージャー型式	: パスレフ(位相反転型)
スピーカーユニット	: φ16cm コーン型フルレンジ

ワイヤレスマイクロホン(ATW-T190MIC)

電源	: 単3形アルカリ乾電池 ×2、 または単3形ニッケル水素電池 ×2
消費電力	: 150mA
無線方式	: 1.9GHz DECT準拠方式
使用周波数	: 1895.616~1902.528MHz
周波数特性	: 100~10,000Hz
アンテナ	: 内蔵アンテナ(ダイバーシティ)
通信距離	: 約50m(見通し時、妨害電波がない場合)

連続使用時間	: 約11時間(単3形アルカリ乾電池使用時) 約10時間(単3形ニッケル水素電池使用時) ※使用条件により異なります。
--------	---

型式	: ダイナミック型
指向特性	: 単一指向性(ハイパーカーディオイド)
使用温度範囲	: 5~45℃
外形寸法	: φ54×240mm
質量(電池除く)	: 約245g
付属品	: ポーチ

改良などのため予告なく変更することがあります。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、販売店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417

(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)

FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416

(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)

FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

●ホームページ(サポート) <https://www.audio-technica.co.jp/support/>

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明書や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社 オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1

<http://www.audio-technica.co.jp>

232305500-01-06

ver.1 2016.06.15

ver.6 2020.09.01